



## 二学期終業式より 子供たちにとってどんな二学期だったでしょう(抜粋)

皆さんにとってどんな二学期だったか。担任の先生方からあゆみをもらいますが、この終業式では、二学期を振り返り、自分のあゆみをつけてもらいます。

9月の始業式に実践してほしいこと3つについて話をしたが覚えていますか？

一つ目は「あいさつ」。家庭で、また登下校の時の地域の方へ気持ちよさを届けるよう皆さんの気持ちの良い声を広げてほしいと話した。(家庭、地域、学校で気持ちの良いあいさつができた人の自己評価)

二つ目は「あとしまつ」。特にトイレのスリッパ、トイレトーパーを散らさないということについて話した。(自分の使ったスリッパをしっかりと揃えることができた人の自己評価) 実際は、多くの人が、乱れていたスリッパを揃えていたことがわかる。

三つ目、「家庭での過ごし方」。その中で、やってはいけないゲームをすることで、友達にいやな思いをさせる言葉を使ったり、傷つけたりすることはなかったか。(友達にいやな思いをさせたり、傷つけたりしなかった人の自己評価。) そして、家庭での学習について。宿題をすることは当たり前、宿題以外の自主学習をいかに行うかということ。自分で目標を決めて行い、やり遂げると気持ちが良い。勉強を頑張ることができたか。少しでも「できることが増えたならば、よき習慣が備わった」といえる。

さて、明日から冬休みが始まる。二つのお願い。まず、一つ目。新年を迎えるに当たり、年末は、一年を無事に過ごした感謝の気持ちを込めて大掃除をするので、家族の一人として「仕事」を決め、役割を果たしてほしい。

二つ目。二週間の冬休み、健康安全に気を付けて過ごしてほしい。(生活のリズムを崩さない、食べ過ぎをしない、様々な感染症・病気に気を付ける、交通事故などがないように)



## 子供たちの学習について (成長を感じることを、力を付けてほしいこと)

生活リズムや精神的安定は、学習への取り組みに良き効果をもたらす、確実な学習理解、学力向上へとつながっている。

学習課題に対してじっくり考え、自分の考えをノートに残す、まとめていくことは大切である。(丁寧な文字：振り返りができる。書く速さも大事。)

学習の基本がしっかりしていることを再確認。(正確な文字・文章の読み・書き、たし算・ひき算・かけ算九九、効果的な用具準備。用具を正しく使う等。)

相手(先生や友達)の話を正確に聞いて自分の考えを話す、お互いに話し合う、対話することは学習理解が深まる。

ねらいにあった書く活動や理由・根拠を取り入れた説明を行っている、思考力が高まる。

家庭学習の充実が影響する。(学年・個人によっても異なるが、出された課題への取り組み状況は

どうだったか。いかに自分で課題を見付け自主学習に取り組むことができるか。)



## 校長のつぶやき (自分たちのできる環境問題への取り組み)

5年生の「ブループロジェクト活動(藻場の再生)」についてはこれまで紹介してきました。その後、アマモの種の発芽が気になります。(教室の観察容器に目がいきませんが……) 「アマモは海のゆりかご。海をきれいにして魚が住みやすい海にしたい。」という思いをもつ子供が増えていることを嬉しく思います。

以前、溝の中に落ちていたタバコの吸い殻を拾い集める機会がありました。ゴミ類も少なくなっていると思うのですが、雨が降ると、溝に落ちているゴミ類は、雨水と一緒に最終的には海へと流れ出ることになります。

朝、交通安全を願いつつ、挨拶をしながら校門前で児童を迎えます。登校児童を迎える前、ずいぶん減りましたが、ティッシュや汗を拭いた後のペーパー、マスク、吸い殻、空き缶を拾い集めていることがあります。そういったことを感じてか、登校中に見付けたゴミを拾って、私に手渡し子供もいます。

6年生や3年生は、校門や運動場の隅にある落ち葉をきれいに掃除しています。先日の夜中の強風や大雨の際、体育館前の通路には、落ち葉や木の枝が多数落ちていました。自主的に掃除したのは6年生でした。気付く力、行動に移す力が育っていることを実感します。

純粋に、「美しい、住みやすい町・深江にしたい」という子供たちの心を大切に、更に育てていきたいと考えます。皆様の御理解と御協力をお願いします。



入賞者の紹介 (敬称略) おめでとうございます

○ 第69回子ども県展


絵画の部 特選…	1年 陣野	5年 原川	6年 吉田		
入選…	1年 高原	2年 大谷	3年 佐藤		
	4年 中尾	4年 宮崎	4年 松尾		4年 吉永
	6年 永吉	6年 橋本	6年 別府		6年 増田
	6年 川勝	6年 三隅	6年 河原		
版画の部 入選…	4年 上田	4年 吉永			

第69回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」が開催されます。  
 1 日 時 令和6年1月16日(火)～21日(日) 10:00～20:00  
 2 会 場 長崎県美術館(長崎市出島町2番1号) ※ 入場無料

○ 「南島原市人権標語」入賞作品の紹介

低学年の部 優秀賞	2年 上田	「ぼくらしく みんなの中でも かがやくよ」
高学年の部 優秀賞	4年 上田	「勇気出し 心のことば 大声で」
同上	6年 川田	「スマホより 目と目を合わせて 話そうよ」

○ 「読書感想文・感想画コンクール」

長崎県読書感想文	入選	5年 横田	3年 松本	
	佳作	6年 別府	6年 河原	
		1年 上田	5年 入江	
長崎県読書感想画	入選	2年 廣瀬	4年 岡本	
		1年 高原	1年 高原	1年 吉田
	佳作	4年 高原	3年 上田	2年 岩永
		2年 水田	2年 川島	2年 水田
		1年 喜多	1年 高柳	1年 榊
		1年 藤田	1年 陣野	1年 永石
		1年 本田	1年 岡本	1年 川田
		1年 高原		



○ JA書道コンクール 銅賞 2年 高原



日本文化の継承 年末年始はいかに……



年末年始の慣習は、一つ一つに意味があるからこそ、「日本文化」として続けられてきたことなのでしょう。そこには、挨拶や言葉遣いをはじめとして、礼儀やマナーも関わってきます。時間や手間を惜しんだり、堅苦しさが敬遠されたりする風潮の中ですが、子供たちにも、是非伝えていきたいですね。



礼儀やマナーという行為の「形」に込められた「心」を改めて見つめ直してみたいものです。皆様、よい年をお迎えください。